

平成 28 年度

# 学校関係者評価書

評価対象期間 自：平成 28 年 4 月 1 日

至：平成 29 年 3 月 31 日

中央工学校

学校関係者評価委員会

# 目 次

1. 目 的	2
2. 学校関係者評価	2
3. 評価項目	2
4. 組 織	2
(1) 学校関係者評価委員会	2
(2) 任 期	2
5. 実 施	2
6. 評価要領	3
7. 自己評価概要	3
(1) 自己評価項目	3
(2) 自己評価結果と改善点の概要	4
8. 学校関係者評価結果	5
(1) 会議進行	5
(2) 評価結果	6
9. 総 括	6
10. 項目別評価結果	7
11. 学校関係者委員からの総括意見	18

## 1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、平成 28 年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

## 3. 評価項目

評価項目（評価の観点 4 項目）は次による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

## 4. 組織

### (1) 学校関係者評価委員会

委員長：三瓶 助太郎	卒業生
委員：亀井 尊	高校関係者
渡部 吉晴	保護者
静谷 雅人	建築系担当
小松原 学	土木測量系担当
吉田 照司	機械・CAD系担当
松下 高弘	デザイン系担当
小野 朋江	国際情報系担当
小田川 栄喜	スポーツ系担当

（敬称略・順不同）

事務局：井上 洋輔                      国際情報系教員室

### (2) 任期

委員任期を平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日（2 年間）とする。

## 5. 実施

平成 29 年 1 月 27 日（金）中央工学校 1 号館会議室において、委員全員の出席により、学校関係者評価委員会が開催された。

## 6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明し、学校関係者としての評価を行った。

なお、会議の進行及び必要な事務は学校（事務局）が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

## 7. 自己評価概要

### (1) 自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、本校の実状に合わせ、必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

#### ア. 教育理念・目標・人材育成像（大項目）

- ①教育理念・目的・育成人材像は定められているか（小項目）
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④教育目標・人材育成像・特色・将来構想は、学生・保護者・関係業界等に周知されているか
- ⑤教育目標・人材育成像・特色は、業界のニーズに対応しているか

#### イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ③コンプライアンス体制が整備されているか
- ④教育活動に対する情報公開が適切になされているか
- ⑤情報システム化等により業務の効率化が図られているか

#### ウ. 教育活動

- ①教育理念、人材育成像などを踏まえ、教育到達レベルが明確になっているか
- ②各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ③カリキュラムや教育方法の工夫・開発が適切に行われているか
- ④関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか
- ⑤授業評価の実施体制はあるか
- ⑥資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑦成績評価の基準は明確になっているか
- ⑧教員資質向上の為の研修が行われているか

#### エ. 学修成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

#### オ. 学生支援

- ①進路に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

#### カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習・インターンシップ等について充分整備されているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

#### キ. 学生の受入れ募集

- ①学生募集活動は適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- ④学納金は妥当なものになっているか

#### ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
- ③財務について会計監査が適性に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

#### ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

#### コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

#### サ. 留学生（国際交流）

- ①留学生の受入れについて戦略を持って行っているか
- ②留学生の受入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

## (2) 自己評価結果と改善点の概要

### ア. 教育理念・目的・人材育成像

専門学校を取り巻く環境の変化に対応していくことが必要である。教育実施計画書（シラバス）の整備を行い、目的・目標（指標）を見直した。今後はそれらの検証を行い、改善を図る。

## イ. 学校運営

データ量の増大とハードウェアの老朽化を踏まえ、COM システムの管理・運営を検討中である。情報セキュリティリスクを如何に低減するかが課題である。

## ウ. 教育活動

評価方法をより明確にするために、教育課程編成委員会（学内委員）にて目標に対する到達レベルとその評価方法の検討を進める。

## エ. 学修成果

卒業後必要となる資格取得の推奨を図る。また、学生にとって有益な求人企業のさらなる開拓を継続する。

## オ. 学生支援

多少精神的な問題を抱える学生も見受けられる。担任は学生と個人面談を行い、入学後できるだけ早い時期に個々の学生の状況を把握するように務める。

## カ. 教育環境

自衛消防隊の編成と任務については見直しを図った。教職員全員に自衛消防隊の再編成と任務について周知を図ると共に、今後も避難訓練を実施する。

## キ. 学生の受け入れ募集

学生募集活動は、おおむね適正であり入学生の良好な募集につながっている。今後も丁寧な対応を心がけたい。

## ク. 財務

将来構想に適した学校の再編計画に着手している。その為には財務基盤の維持・向上を図る必要がある。

## ケ. 法令等の遵守

時間外勤務の適正な管理について、業務の見直しを図り適切な労務管理に努める。

## コ. 社会貢献・地域貢献

主要校舎の建替えに伴い、地域に対する開放講座が限定されている。施設活用と講座内容の見直しを行う。

## サ. 留学生（国際交流）

在籍管理については滞りなく行われており、今後も管理を徹底する。また、求人やインターンシップ先の確保に向け、就職指導課と連携を図り積極的な企業訪問する。

## 8. 学校関係者評価結果

### (1) 会議進行

堀口校長の開会挨拶に続き、山下教務課長から、「学校評価概要（自己評価・学校関係者評価）」について説明した。

松田副校長より「平成 28 年度中央工学校運営計画」さらに、自己評価書に基づき建学の目的・基本的運営方針・現状の分析（学生数・教職員数・学習概況）について説明した。自己評価委員から、評価項目（大項目・小項目）についての分析を説明し、評価結果を示した。

質疑応答の後、評価結果及び意見を評価シートに記載した。

## (2) 評価結果（評価の観点 4 項目 に対する評価）

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

### ア. 自己評価の内容が適切かどうか

平成 28 年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、評価内容の確認をした。一部検討不足と思われる内容も見受けられたが、全般的に良好な学校運営がなされていることが確認できた。適切な自己評価結果と判断する。

### イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

改善策は概ね適切と判断できるが、具体的な改善方策が不足している項目もある。

### ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

自己評価の結果を反映させた「平成 29 年度重点管理指針」が示されている。新年度に向けて、具体的方策が盛り込まれた「平成 29 年度中央工学校運営計画」策定が望まれる。

### エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

平成 27 年度の自己評価・学校関係者評価結果を反映し、改善に向けた取組みが確認できた。適切と判断する。

## 9. 総括

平成 28 年度における学校業務について、自己評価結果の報告を受け学校関係者としての評価を行った。一部に評価結果（点）の不明瞭な項目や、今後改善を要する項目も見受けられたが、全般的に適切な自己評価である。学校関係者評価の観点 4 項目と照らし合わせても適切な結果であると総括する。

なお、学校関係者評価委員による各自己評価項目に対応する意見記述を、次ページ以降にまとめた。主なものは次の通り。今後、改善の参考としたい。

- ・ 若者のコミュニケーション能力不足があります。実社会では、実務以上に必要とされていますので考えていただけたらと思います。
- ・ 情報セキュリティの安全性確保が求められる。他は適切だと思います。
- ・ 資格取得の必要性をより強く指導して下さい。
- ・ 就職率の向上が十分図られていると思う。但し、2020 年以降を見据え、離職率に対する調査・対策も必要になると思う。
- ・ インターンシップ等は必要と思われます。資格等を有するインターンシップは学生にとって、大変貴重な体験が出来る場であると考えます。
- ・ 個人情報保護に関して課題を整理して改善に取り組んでください。また SNS の誤った活用で大きな損失を与える事を、学生に教育してください。
- ・ 幅広い範囲で生涯学習の確立をお願いしたい。
- ・ 日本で技術を習得し、帰国してリーダーとなって自国の発展に尽くそうとする若者を支援していることが理解できました。日本文化を理解しようとする若者を育てることは国際交流として意義があります。

## 10. 項目別 評価結果

### (1) 教育理念・目的・人材育成像

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
1-1	教育理念・目的・人材育成像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	教育目標・人材育成像・特色・将来構想は、学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
1-5	教育目標・人材育成像・特色は、業界のニーズに対応しているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○○	不適切：
------	---------------	------

#### 自由記述

- ・概ね適切であるが 1-5 の業界ニーズに対応の件、中央工学校人材育成後援会や同窓会を通して深掘りを望む。
- ・人材育成の強化をよろしくお願いいたします。
- ・適切であると判断する。
- ・特記事項 - 第三者評価受審に対する準備を具体的に説明して欲しかった。
- ・1-3、1-4 は毎年見直し、検討しながら改善して行くことだと思うので良いかと思います。
- ・1-5 にもありますが若者のコミュニケーション能力不足があります。実社会では、実務以上に必要とされていますので考えていただけたらと思います。(評価されていると思います)
- ・適切であると思います。
- ・外国人留学生を採用したいという業界のニーズの高まり、及びそのニーズの変化を分析しながら教育目標を定めていくことが求められる。他は適切だと思います。
- ・1-3 (ウ) 離職者の再就職の訓練の場として①夜間で学べる、②昼間でも学べる学科の設置を考えて欲しい。(75歳まで働ける環境を考えた場合)



(2) 学校運営

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2-3	コンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-4	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○	不適切：
------	--------------	------

自由記述

- ・ホームページの有効利用は、毎年進化して行くものと思っていますのでよろしいかと思ます。

---

- ・適切であると思ます。

---

- ・企業はコンプライアンスの強化を図っています。より体制を整えて下さい。

---

- ・適切であると判断する。

---

- ・自己評価以上に適切であると思ます。

---

- ・教育は100年の計をもって臨む姿勢と変化する教育界、社会ニーズに臨機応変に対応できることが重要で、よく考えた実践であるとする。

---

- ・情報セキュリティの安全性確保が求められる。他は適切だと思ます。

---

- ・2-3 コンプライアンス体制、2-4 SEO 対策は前年からの進捗が少なかったとの評価だが、ぜひ速くして欲しい。2-2 重点管理指針をブレイクダウンした事業目標、具体的方策を具体的に示して欲しい。

---

- ・よく理解できました。

---



---



---



---

### (3) 教育活動

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
3-1	教育理念、人材育成像などを踏まえ、教育到達レベルが明確になっているか	4	3	2	1
3-2	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-3	カリキュラムや教育方法の工夫・開発が適切に行われているか	4	3	2	1
3-4	関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
3-5	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-6	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
3-7	成績評価の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-8	教員資質向上の為の研修が行われているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

#### 自由記述

- ・3-1 教育到達目標の明記 Good Point、早期の評価方法の立案を希望する。

---

- ・大変良く運営されており評価も適切である。

---

- ・今後も積極的に研修に参加する事を望みます。適切であると判断します。

---

- ・学生アンケート等、学生の意見を積極的に聞き、改善に生かしているのが良いと思いました。

---

- さらに学生の自主性を引き出す教育活動ができると良いと思います。

---

- ・資格取得の必要性をより強く指導して下さい。

---

- ・評価及び、改善方策について適切であると評価します。

---

- ・自己点検と評価により、常に最良のものに作り上げようとする姿勢が良い。

---

- ・3-4 の建築企業派遣講師のみではなく、設計事務所の講演等も検討されると学生の刺激となると思います。

---

- ・適切に評価されていると思います。

---

(4) 学修成果

評価項目		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- ・4-1 就職率の向上をぜひとも、4の適切な評価を目指してください。

---

- ・企業との連携(卒業生の企業もある)→卒業生を大切にする(誇りの持てる学校)。

---

- ・特になし。

---

- ・4-3のコンクール、コンペ等の参加を評価します。新入生の意欲に繋がります。

---

- ・大変良く運営されており評価も適切である。

---

- ・景気の変化に対応できるよう継続的な「中央工学校」自体のブランディングと社会に貢献できる人材育成の視点を持ち続けることが必要と感じました。他は適切だと思います。

---

- ・評価について、適切と思います。

---

- ・適切に評価されていると思います。

---

- ・4-1 就職率の向上が十分図られていると思う。但し、2020年以降を見据え、離職率に対する調査・対策も必要になると思う。

---



---



---



---



---



---



---



---



---

(5) 学生支援

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
5-1	進路に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5-5	課題活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- ・ 専門学校の良さを引き出し、大学と違った意味で利点を出して行くと良いと思います。
- ・ 特になし。
- ・ 適切だと思います。
- ・ 大変良く運営されており評価も適切である。
- ・ 適切に評価されていると思います。
- ・ 適切であると判断します。次年度以降もオール4を達成してください。
- ・ アットホームな学校環境作りに努力している姿が見える。いつも学校から見守られているという学生の意識が良い結果を招く。
- ・ 評価は適切である。今後の課題として、この現状を維持していく方法を検討する必要がある。
- ・ (4) と連携して卒業後の追跡と支援についても、今後考えていければ良いのではないかと。

## (6) 教育環境

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるように整備されているか	4	3	2	1
6-2	学内外の実習・インターンシップ等について充分整備されているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○	不適切： ○
------	---------------	--------

### 自由記述

- ・インターンシップについては、学生本人の自己開拓を原則とすると、業界（専攻）によって機会に差が出てしまう。学校も主体となって、インターンシップ先の開拓が必要ではないかを感じる。
- ・インターンシップ等は必要と思われます。資格等を有するインターンシップは学生にとって、大変貴重な体験が出来る場であると考えます。
- ・適切に評価していると思います。AED の使用方法を学生にも知っていただけたらと思います。
- ・校舎が数多く分れているのでシステムづくりが大変だとは思いますが、逆に被害も少量で済む場合もあると思います。良くやられていると思います。
- ・素晴らしい教育環境です。学生さんは幸せだと思います。近未来に地震などの災害に備えて、避難訓練や避難所として地域に貢献して欲しい。
- ・防災に関しては単なる教育環境の一部として捉えるのではなく、BCP として捉え、火災だけでなく震災への備えを考えて欲しい。
- ・インターンシップについて、学校カリキュラムとの共存が上手く図られているのか疑問が浮かびましたが、とても良い制度であると思います。
- ・6-3 防災に対しては危機管理意識がだいぶ高まった様に見受けられますが、内容に於いて評価はレベル③ではないかと思われます。

## (7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	④	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
7-3	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	④	3	2	1
7-4	学納金は妥当なものになっているか	④	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

### 自由記述

- ・大変良く運営されており評価も適切である。
- ・評価は適切である。募集活動の結果(成果)も評価に入れるべきではないか？
- ・入学金支払い方法等、融通がきいて良いと思います。
- ・特になし。
- ・CM放映料金はみんなの授業料から出ていると生徒に説明したことがある。学校見学に行くと、お土産をもらえる学校もあるが、新聞に掲載された中央工学校なら高校教員や保護者から信頼が得られる。
- ・評価は適切であると思います。
- ・自分の好きな仕事で長く働き、幸せになってほしいと願っている保護者の立場からすると、その土台を作ってくれる学校に入れたい。管理職や社長として活躍しているOB・OGの紹介なども効果があると思う。
- ・適切に評価されていると思います。しっかりとまわりに周知されている。(無駄がない)
- ・今後も正当な学生募集に努めてください。

(8) 財務

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- ・適切であると思う。修繕費にかかるのはしかたのない事と思います。

---

- ・適切だと思います。

---

- ・特になし。

---

- ・適切であると判断します。

---

- ・課題意識も適切である。

---

- ・大変良く運営されており評価も適切である。

---

- ・将来の学生数の確保は、専門学校・大学に関わらず、問題になってくると思います。

---

- ・18歳人口の減少により、厳しい運営を迫られていると思いますが、しっかり予算を立てて、計画のもとに適切に運営されていると思います。

---

- ・評価は適切であると思います。

---



---



---



---



---



---



---

(9) 法令等の遵守

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- ・法令を遵守し適切に運用されています。

---

- ・適切に評価していると思います。続けて下さい。

---

- ・個人情報に関しては保護が大切ですので強化を図って下さい。

---

- ・9-2 今後の改善が期待されます。

---

- ・自己評価結果の公開は非常に良いと思います。

---

- ・9-2 の対策が出来ていない事をちゃんと認識している。

---

- ・コンピュータセキュリティはパスワード管理のみならず、ネットワーク構築やファイアーウォール管理も重要な項目なので、専門家等を交えて対策を検討して欲しい。

---

- ・評価は適切であるが9-2の自己評価が②となっておりますので、大変難しい問題ですが、あきらめないで取り組んで頂きたい。

---

- ・個人情報保護に関して課題を整理して改善に取り組んでください。またSNSの誤った活用で大きな損失を与える事を、学生に教育してください。適切であると判断します。

---



---



---



---



(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- ・2020年オリパラのボランティアとして、学生さんにご協力いただきたいと思います。

---

- ・社会貢献、地域貢献について、御校は歴史も古く多く貢献されており評価も適切である。

---

- ・適切だと思います。

---

- ・とても活発な活動をしていると思います。それぞれの地域の居住者との結びつきは、学生が社会人になる前の予行として最適であると思います。

---

- ・地域に根差した教育は重要です。地域から愛される学校であるためには、社会貢献・地域貢献が大切です。すばらしい実践がなされていることが理解できます。

---

- ・適切に評価していると思います。続けて行って下さい。

---

- ・評価は適切である。

---

- ・特になし。

---

- ・幅広い範囲で生涯学習の確立をお願いしたい。

---



---



---



---



---



---



---



## 11. 学校関係者委員からの総括意見

- 項目全般に概ね適切な運営がなされており適切な評価ですが、6-3 防災は経済的に負担のかかる割に評価されにくい為おろそかになりがちです。今回の評価において危機意識は大きく高まったものと推察致しますが、当校舎の場合、複雑で有り重視すべき項目です。出来れば王子消防署との合同訓練やアドバイスの受け入れをおすすめ致します。
- 伝統ある学校として、胸を張れる内容になっていると思います。卒業生としても誇らしく思います。今後も益々課題を整理しつつ、より一層高いレベルの学校であり続けて欲しいと強く思います。
- 学生さんたちの学習及び人間教育に熱心に取り組まれ、日々改善と新しい挑戦をされている様子が分かりました。今、日本企業はゆっくり社内で育成していく余裕が無くなっていると感じます。今後はさらに、自分で考えて動いていける精神的にたくましい若者の育成が求められます。外部に研修に行かせ、外に開かれた教育を目指すことができれば良いと思います。
- 全項目、適切であると判断いたします。資料作成から、日常業務、大変なご苦労があると思います。学生のために良き学校を作ってください。お手伝いする事があれば、お声掛けください。本日は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- 全体的に評価項目の立案、実施、自己評価に渡り、形式的なものにならず熟慮を重ねられている姿勢が判り、非常に意味のある内容になっていると思います。課題を分散させずに、一つ一つ着実に取り組んで行って欲しいと思います。保護者の願いは就職です。子供と企業が共に納得して幸せな社会生活が過ごせる様、ご指導をお願い致します。
- 専門学校の良いを出して行くことが将来の中央工学校の役割だと思います。設備の充実は大切です。若い学生が多いので、一般教育や道徳が難しいと思います。社会人転職コースのような枠もこれから必要ではないかと思いました。
- 新校舎建設における教育環境の強化は重要な事だと思われます。教員雇用の関係はどこも頭を悩ますところです。また、時間外の勤務等、適切な管理が問われます。運営のあり方もつながってくると思います。
- しっかりと自己評価されていると思いました。これからもより良い学校作りをしてください。
- 日本という国の在り方や日本人の資質などを考えてみると、私たち日本民族の文化というものは「ものづくりの文化」という言葉でくくれるような思いがします。そしてその技術をもって大きく世界へ貢献し、その多くの実績から尊敬と信頼を得られる国家として世界中に日本の存在が注目されているわけです。その教育の最先端にあるのが専門学校であります。中央工学校は創立 107 年の歴史と伝統のある学校であり、まさに実績ある教育実践校だといえます。  
定年を迎えるに当たって、以前から、「造園」について勉強したいと考えていました。しかし、専門学校には年齢制限の問題や、夜間部が開設されていない学校もあります。今後、そういった高齢者対象の学びの場を設定してもらえれば幸いです。2 年間委員として出席させていただきました。中央工学校の確かな実績と日本の職業教育の将来をしっかりと展望している点に感銘を覚えます。中央工学校のますますの発展と教職員のご健勝をお祈りしています。